

冬の夜

作詞・作曲者不詳

♩=84

1 3 3 2 1 5 6 5 1 3 5 5 3 1 2 2 3 2 0
1 ともしび一ち一かくきぬぬう一は一はは
2 いならぶ一こどもはゆ一びを一おりつつ

5 6 5 1 2 3 3 2 1 2 5 2 2 2 3 1 0
は一るの一あそびのたのしきかたる
ひ一かず一かぞえてよろこびいさむ

2 3 2 1 7 6 5 6 7 0 2 3 2 0 5 3 4 3 2 1 7 1 2 3 1 0
いろりびは一と一ろと一ろそ一と一は一ふ一ぶ一き

冬の夜

作詞・作曲不詳

一 燈火（ともしび）ちかく衣（きぬ）縫ふ母は
春の遊びの楽しさ語る
居並（いなら）ぶ子どもは指を折りつつ
日数かぞえて喜び勇む
囲炉裏火（いろりび）はとろとろ
外は吹雪

二 囲炉裏の端に繩なう父は
過ぎし戦（いくさ）の手柄を語る ※
居並ぶ子供は眠さ忘れて
耳を傾け拳（こぶし）を握る
囲炉裏火はとろとろ
外は吹雪

※ 戦後の歌詞「過ぎし昔の思い出語る」